

実施報告書

会議名	医療・介護間の栄養連携の推進に向けた栄養士連絡会議ワーキンググループ
場所	東松山保健所 2階 大会議室
実施日	令和元年8月29日(木) 14:00~16:45

【概要】

5月28日の令和元年度当該連絡会における意向を受け、東松山地域で施設間を移動する住民の安全な食事提供に向けた食形態一覧作成内容と方向性を確認していくためにWGを立ち上げた。(要綱参照) 進行 関

1 はじめに 関より趣旨説明

- ・栄養士連絡会のこれからの在り方について検討していく
- ・東京都健康長寿医療センターの実態調査報告書をもとに説明
- ・最終的に、栄養情報提供書の活用は大切である。今後活用されるよう促していきたい。
- ・入退院後の食事が在宅機能に合わない摂食になっていることが調査でも示唆されている。
- ・施設の食事を同じように家族が対応していくのは難しい。QOLの低下につながっている。配食サービスのほとんどが常食。
- ・地域の食形態実情を調査し、それぞれの施設の中でどのように取り組んでいるのか把握の上一覧化できるとよい。
- ・施設での取組によるQOLの向上を事例としてまとめ、当保健所の栄養士の連携を地域に見えるような形で進めていく。

2 内容

(1) WGが目指す食形態情報の整理について

<決定事項> 目的：安全な食形態の提供

目標：①一覧化し、各施設食形態の名称を分かりやすく整理する。

②栄養情報提供書の活用によるQOL向上

課題：②は管理栄養士・栄養士ではなく看護師が作成発信しているのが現状。

各介護事業者等も栄養や食事をどこに相談したらよいか説明できない。

<議論>食形態の名称、内容が施設・病院で違っているのではないかと。

高橋：病院でアンケートを行った結果をみるとそれぞれで表現が違っている事に衝撃を受け驚いた。アメリカでは共通言語は決まっている。日本は違っている。大学病院の中でも違う。

関：現場ではどうか。

高橋：施設ごとの調理師でも違う。

榊原：摂食嚥下の学会分類2013を共有言語として多職種の中でもどうにか変えていきたい。

宮崎：ピラミッドに全部入れるのは無理ではないか

呼称が違うのは仕方ない。せめて食形態の提供とピラミッドに入らないものはどんなものがあるか調査することが出来るのではないかと。

石川：実態として小川赤十字病院では栄養情報提供書を栄養士が書くことがない。

禁食から看護師が食事を決めていく、経腸栄養剤の種類を聞かれる。

宮崎：全員でかかわるようにしている。加算が関係するのでは？

栄養士が必要なくなってしまう。しっかり活用すべきだとは考えている。

高橋：現在当医院の関係施設へアンケートを実施中

40施設に依頼 現在の回答（返却）10施設ほど。現在も回収中。

10施設について。固形流動食3とか2と言う言葉があり。嚥下分類がわからない。

※呼称とセットでアンケートに回答していただくように発信はしている。

益子：他から移ってきた方をみても同じきざみといっても形態が違うことを実感した。現在は改善まではいかないが自分の理解を各施設等からの情報にあてはめている。

榊原：神奈川県を取組媒体を紹介。（1施設1シートになって冊子を紹介。）

荒川・宮崎：

あまりハードルを上げたくない。ホームページを通じた提供でよいのでは。

本にするのは、変更があった場合の対応を考えると難しいのでは。

自分たちも参加できると思ってもらえるような形にすること。

次の施設へ渡す時のシート（早見表）も参考に見やすい表になっている。

（参考：高岡済生会病院）

荒川：介護ではケアマネが食事形態を決めることになっている。

栄養指導も行っているが、今後在宅の栄養管理も行いたいと思う。

関：共通言語の整理といっても全国もまだ行われていない。比企ではどのようにしていけば良いのか？

石川：カラーの表のようにしたらいいのでは（参考：東京都多摩小平保健所等）

以上

【第1回ワーキンググループ決定事項】*次回以降も名称などは再検討します。

1 施設の選定

給食台帳届出があり、連絡会に通じている施設。

各施設への説明会は改めて設けない。

個別対応としていく。要請があれば説明にいく（ワーキンググループメンバーが協力）

2 各様式のネーミング（案）

「食事情報一覧表」

「嚥下食 早見表」 各施設1シート

手 順

①施設の食事の表を作成

②写真 そのまま利用できるか確認する。

③形態、特徴、情報内容はほぼ同じでよい。各施設が一部修正し施設間情報とし活用する。

④担当者名はそれぞれの施設に任せる。なるべく入れたほうが良いとの意見あり

3 今後の予定

10月上旬：シートはメールで確認

11月中旬：各施設提出期限（1か月間あり）

1月中旬ごろ：栄養士連絡会において、活用方法を確認する

5月頃：栄養士連絡会において周知を図る。

*可能であれば3月にHP掲載。

次回の予定 会議予定：12月13日（金）